

秘

平成23年国民年金被保険者実態調査 所得等調査調査票(1)

都道府県		住 所 コ ー ド		市 区 町 村 名													
調 査 対 象 者 リ ス ト				生年月日	整理番号	特別調査の有無	現在の世帯員数			平成22年の所得金額				固定資産評価額 世帯の固定資産評価額の合計（万円）	平成22年度の国民健康保険料(税)		
							世帯員数	うち18歳未満	うち国民年金第1号	本人の所得金額		世帯の所得金額			調査状況	(1)賦課(課税)状況 <軽減なし> (2)賦課(課税)状況 <軽減あり> (3)その他(他制度加入・未加入を含む。)	(2)保険料(税)の納付状況 1. 全部納付 2. 一部納付 3. 全部未納
										(1)総所得金額(万円)	(2)市区町村民税課税状況 1. 課税 2. 非課税	(3)総所得金額(万円)	(4)市区町村民税課税状況 1. 課税 2. 非課税				
1	住 所	氏 名							(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
2									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
3									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
4									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
5									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
6									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
7									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
8									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
9									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
10									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
11									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
12									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
13									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
14									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
15									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
16									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
17									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
18									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
19									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	
20									(万円)	1・2	(万円)	1・2	1・2・3・4	(万円)	1・2・3	1・2・3	

(注)この調査対象者リストは、提出する必要はありません。

(注)厚生労働省に提出する際は、左のキリトリ線から切り取って、この調査票のみを提出してください。

平成23年国民年金被保険者実態調査 所得等調査調査票(2)(所得等特別調査票)

(注1) 下の調査対象者の状況をご記入ください。  
(注2) 厚生労働省に提出する際は、下のキリトリ線から切り取って、  
この調査票のみを提出してください。

整理番号

市区町村名

本人の状況

配偶者の状況

世帯主の状況

1. 本人の総所得金額 円

2. 各種控除額

① 雑損控除 円

② 医療費控除 円

③ 社会保険料控除 円

④ 小規模企業共済等掛金 円

⑤ 配偶者特別控除 円

3. 控除対象者の人数

① 老人控除対象配偶者・老人扶養親族 人

② 特定扶養親族 人

③ 控除配偶者(障害者)及び扶養親族(障害者) 人

④ 控除配偶者(特別障害者)及び扶養親族(特別障害者) 人

⑤ 控除配偶者及び扶養親族(①～④以外) 人

⑥ 本人の状況  
(該当するもの全てに  
○をつける)  
1. 障害者  
2. 特別障害者  
3. 寡婦(寡夫)  
4. 寡婦の特例  
5. 勤労学生

4. 地方税法附則第6条第4項の免除に係る所得額

円

1. 配偶者の有無  
1. 配偶者なし(以下項目の記入不要)  
2. 配偶者あり(以下項目に記入)

2. 配偶者の総所得金額 円

3. 各種控除額

① 雑損控除 円

② 医療費控除 円

③ 社会保険料控除 円

④ 小規模企業共済等掛金 円

⑤ 配偶者特別控除 円

4. 控除対象者の人数

① 老人控除対象配偶者・老人扶養親族 人

② 特定扶養親族 人

③ 控除配偶者(障害者)及び扶養親族(障害者) 人

④ 控除配偶者(特別障害者)及び扶養親族(特別障害者) 人

⑤ 控除配偶者及び扶養親族(①～④以外) 人

⑥ 本人の状況  
(該当するもの全てに  
○をつける)  
1. 障害者  
2. 特別障害者  
3. 寡婦(寡夫)  
4. 寡婦の特例  
5. 勤労学生

5. 地方税法附則第6条第4項の免除に係る所得額

円

1. 本人との関係  
1. 本人が世帯主(以下項目の記入不要)  
2. 配偶者が世帯主(以下項目に記入不要)  
3. それ以外(以下項目に記入)

2. 世帯主の総所得金額 円

3. 各種控除額

① 雑損控除 円

② 医療費控除 円

③ 社会保険料控除 円

④ 小規模企業共済等掛金 円

⑤ 配偶者特別控除 円

4. 控除対象者の人数

① 老人控除対象配偶者・老人扶養親族 人

② 特定扶養親族 人

③ 控除配偶者(障害者)及び扶養親族(障害者) 人

④ 控除配偶者(特別障害者)及び扶養親族(特別障害者) 人

⑤ 控除配偶者及び扶養親族(①～④以外) 人

⑥ 本人の状況  
(該当するもの全てに  
○をつける)  
1. 障害者  
2. 特別障害者  
3. 寡婦(寡夫)  
4. 寡婦の特例  
5. 勤労学生

5. 地方税法附則第6条第4項の免除に係る所得額

円

キリトリ線

住所

氏名

生年月日

## 秘 平成 23 年国民年金被保険者実態調査

お答えいただいた調査票の内容を統計以外の目的に使用することは、法律で禁じられています。また、年金保険料納付の督促や徴税の資料などに使用されることは絶対にありませんので、安心してありのままをお答えください。

### <記入上の注意>

- 封筒のあて名の方が記入してください。記入できない方については、ご家族の方、又は介護をしている方が記入を手伝ってください。
- 質問 1～質問 27 の各質問について、当てはまる番号に○（質問 18－1 については、◎と○）をしてください。
- できるだけ黒のボールペンで記入してください。

**質問 1** 老後に年金を受けるためには、通常、保険料を納めた期間（手続きをして全額免除となった期間などを含みます）が 25 年以上必要となります。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問 2** 国民年金は、民間の個人年金とは異なり、物価や国民生活水準の変動に応じて年金額が改定され、受けられる年金の実質的な価値がなるべく変わらないような仕組みが取られています。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問 3** 国民年金は、老後の生活を保障する老齢年金だけでなく、病気や事故で障害の状態になったときに受けられる障害年金があります。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問 4** 国民年金は、老齢年金や障害年金のほか、ご本人の死亡時に遺族の方が受けられる遺族年金があります。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問 5** 国民年金は、民間の個人年金とは異なり、年金額の 1／2 は国が負担しています。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問6** 国民年金は、通常 60 歳になるまでの加入ですが、年金を受けられる 25 年の要件に足りない場合などは、70 歳になるまで加入できる仕組み（任意加入制度といいます）があります。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問7** 国民年金の保険料を納めると、納めた保険料は税金の計算のときに所得から差し引かれるので、納めなければならない税金は少なくなります。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問8** 国民年金は、保険料を納めた期間が短ければ、その分、年金の受け取り額が少なくなる仕組みとなっています。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問9** 国民年金は、現在の現役世代が納める保険料によって、現在の高齢者の年金給付をまかなう仕組み（世代間扶養といいます）となっています。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問10** 国民年金では、保険料を納め忘れた場合でも、過去 2 年分までさかのぼって納めることができる仕組みになっています。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

**質問11** 国民年金では、若者や所得の少ない人などのために市区町村の窓口に申請することにより、保険料の全部又は一部が免除される制度があります。次のような免除制度はご存じでしたか？

- (1) 経済的にどうしても保険料を納めることができない方のため、世帯の所得に応じて保険料の全部又は一部が免除される制度

1 知っていた

2 知らなかった

- (2) 所得の少ない学生のために保険料の全部が免除される制度（学生納付特例制度といいます）

1 知っていた

2 知らなかった

- (3) 所得の少ない 20 歳台の方のために保険料の全部が免除される制度（若年者納付猶予制度といいます）

1 知っていた

2 知らなかった

質問12 保険料を免除された期間のうち、過去10年間分については、さかのぼって保険料を納める仕組み（追納といいます）があります。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

質問13 国民年金の保険料を一括して前払いすると、保険料が割引される仕組み（前納といいます）があります。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

質問14 月々の保険料は翌月末が納付期限ですが、口座振替によって当月末の引き落としにすると、割引となる仕組み（早割といいます）があります。このことをご存じでしたか？

1 知っていた

2 知らなかった

質問15 平成22年4月から平成23年3月までの1年間に国民年金の保険料をひと月でも納めましたか？

1 はい

2 いいえ

質問 16 へ

質問15－1 平成22年4月から平成23年3月までの1年間で最も利用回数の多かった納め方を、次の中から1つ選んでください。

1	銀行・農協・郵便局などの口座からの自動引き落とし
2	銀行・農協・郵便局などの窓口で直接納めた
3	コンビニエンスストアで納めた
4	インターネット、金融機関のATM、携帯電話（モバイルバンキング）、電話（音声案内）などで納めた
5	クレジットカードで納めた
6	年金事務所で納めた
7	その他

質問16 国民年金の保険料は、銀行・農協・郵便局などの窓口で納付する以外に、銀行・農協・郵便局などの口座からの自動引き落とし（口座振替）で納めることができます。  
この仕組みを利用したことがありますか？

質問 17 へ ←

1 利用したことがある

2 利用したことはない

質問16-1 利用したことがない理由について、主なものを1つだけ選んでください。

1	知らなかったから
2	いまの方法で特に不都合はないから
3	手数料がかかると思っていたから
4	手続きが面倒だから
5	毎月定期的に引き落とされるよりも、自分の都合に合わせて納めたいから
6	免除されているので納める必要がないから
7	その他

質問17 国民年金の保険料は、夜間や休日でも利用できるコンビニエンスストア、ご自宅のパソコンや携帯電話から利用できるインターネットなど（インターネットバンキング、モバイルバンキング、テレフォンバンキング（電話の音声案内））や、クレジットカードでも納めることができます。

この仕組みをどれか1つでも利用したことがありますか？

質問 18 へ ←

1 利用したことがある

2 利用したことはない

質問17-1 利用したことがない理由について、主なものを1つだけ選んでください。

1	知らなかったから
2	いまの方法で特に不都合はないから
3	手数料がかかると思っていたから
4	手続きが面倒だから
5	普段、コンビニエンスストア、インターネット、クレジットカードなどをあまり利用しないから
6	免除されているので納める必要がないから
7	その他

質問18 あなたは、20歳以降、免除された場合を除き、国民年金の保険料を納めなかった期間がありますか？

1 ない（すべて納めてきた、または、すべて免除された） → 質問 20 へ

2 ある（納めなかった期間がある）

質問18-1 国民年金の保険料を納めなかった理由について、次の中から当てはまるものすべてに○、そのうち最も主要な理由には◎をつけてください。

1 うっかりして忘れた、あるいは、後でまとめて払おうと思ったから

2 保険料が高く、経済的に支払うのが困難だったから

3 受け取れる年金額が分からない、あるいは、納める保険料に比べて少ないと思うから

4 老後のことや年金のことに関心がない、あるいは、年金を受けなくても、他の収入や貯蓄で暮らしていけると思うから

5 これから保険料を納めても加入期間が少なく、年金がもらえないから

6 すでに、年金を受ける要件を満たしていたから

7 年金制度の将来が不安、あるいは、信用できないから

8 納めた保険料が無駄遣いされているのではないかなど、厚生労働省・日本年金機構が信用できないから

9 自分以外にも保険料を納めていない人がいたから

10 特に理由はない

（質問18-1で、2を選択した方のみお答えください）

質問18-2 質問18-1で、2を選択した理由を次の中から1つ選んでください。

1 元々収入が少ない、あるいは不安定だったから

2 失業、倒産、天災、事故、病気などにより所得が低下したから

3 保険料より優先度の高い支出が多かったから

4 その他

**質問19** 納めていない保険料は、過去2年分までさかのぼって納められます。この仕組みについて、あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。

1	もう少し生活にゆとりができれば、納めていない保険料を納めたい
2	年金制度の意義や有利な点が理解できれば、納めるつもりである
3	保険料を納めなければ年金は受けられないが、年金制度や厚生労働省・日本年金機構は信用できないので納めるつもりはない
4	国民年金はあてにしていないので、納めるつもりはない
5	その他

**質問20** あなたは、20歳以降、国民年金の保険料を免除された期間がありますか？

※ ここでの免除は、法定免除・申請全額免除のほか、学生納付特例や若年者納付猶予の方も含みます。

1	ない（免除されたことがない）	→ 質問 21 へ
2	ある（免除されたことがある）	↓

**質問20-1** 免除された期間のうち、過去10年間分については、さかのぼって保険料を納める仕組み（追納といいます）があります。追納の仕組みを利用しますか？1つ選んでください。

1	全部追納したい 又は 全部追納する予定である
2	一部だけでも追納したい 又は 一部だけでも追納する予定である
3	追納するつもりはない
4	すでに全部追納した
5	一部追納したが、さらに残りも追納したい
6	一部追納したが、残りは追納するつもりはない
7	その他・特にない



質問21 あなたは、平成23年3月末時点で学生でしたか？ ※ 平成23年3月に卒業した方も1（学生だった）に○をつけてください。

1 学生だった	2 学生でなかった
---------	-----------

質問22へ

質問21-1 平成23年3月末時点で、学生納付特例制度を利用していましたか。制度をご存じでなかった学生の方も、ご両親等が手続きをされている場合がありますので、なるべくご確認の上お答えください。

質問22へ

1 利用していた	2 利用していなかった
----------	-------------

質問21-2 学生納付特例制度を利用していなかった理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

1 制度を知らなかったから
2 所得が多く制度を利用できなかった、または、申請したが認められなかったから
3 手続きが面倒だったから
4 国民年金をあてにしていなかったから
5 保険料を納めていたから
6 その他・特にない

質問22 あなたは、平成23年3月末時点で、所得を伴う仕事をしていましたか？当てはまる番号に○をつけてください。

1 していた	2 していなかった
--------	-----------

質問23へ

質問22-1 次のうち、平成23年3月末時点の状況に当てはまるものを1つ選び、記号に○をつけてください。

1 自営業主（個人経営の店主や農業主など）
2 家族従業者（自営業主の手伝い）
3 常用雇用（正社員等）
4 臨時・パート・アルバイト

**質問23** あなたの世帯全体の毎月の消費支出額は平均してどれくらいですか（毎月经常的にかかる生活費のうち、住宅等のローン、各種保険料、貯金などを除いた部分を教えてください）。

1 5万円未満	2 5万円以上 10万円未満
3 10万円以上 15万円未満	4 15万円以上 20万円未満
5 20万円以上 25万円未満	6 25万円以上 30万円未満
7 30万円以上 40万円未満	8 40万円以上 50万円未満
9 50万円以上 60万円未満	10 60万円以上

**質問24** あなたは、平成23年3月末時点で、生命保険に加入していましたか。当てはまる番号に○をつけ、加入していた場合は、毎月支払っていた保険料の額も記入してください。

1 加入していた	→ 保険料は月々_____円
2 加入していなかった	

**質問25** あなたは、平成23年3月末時点で、民間保険会社や郵便局などの個人年金に加入していましたか。当てはまる番号に○をつけ、加入していた場合は、毎月支払っていた保険料の額も記入してください。

1 加入していた	→ 保険料は月々_____円
2 加入していなかった	

**質問26** あなたの世帯では、平成23年3月末時点で、あなた以外で生命保険に加入していた人はいましたか。当てはまる番号に○をつけ、あなた以外で加入していた人がいた場合には、あなたを含めて世帯全体で支払っていた生命保険の保険料の合計額を記入してください。

1 自分以外で加入していた人がいた	→ 保険料は月々_____円
2 自分以外で加入していた人はいなかった	（単身世帯の場合は、2を選んでください。）

**質問27** あなたの世帯では、平成23年3月末時点で、あなた以外で個人年金に加入していた人はいましたか。当てはまる番号に○をつけ、あなた以外で加入していた人がいた場合には、あなたを含めて世帯全体で支払っていた個人年金の保険料の合計額を記入してください。

1 自分以外で加入していた人がいた	→ 保険料は月々_____円
2 自分以外で加入していた人はいなかった	（単身世帯の場合は、2を選んでください。）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

- ・調査票のご記入が終わりましたら、記入誤りや記入もれがないか、もう一度ご確認ください。
- ・同封の返信用封筒に入れて締切日までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。